

被災者用一時使用住宅募集・抽選発表 高齢者・障害者向地域仮設住宅募集・抽選発表

復旧復興には多くの人手が必要で、その管理ノウハウが求められます。



弊社が十数回に渡って役所から受託した業務が、被災者用一時使用住宅の募集パンフレットの印刷、各避難所への配布、抽選掲示板の製作、数百カ所に渡る避難所への抽選結果の掲示です。役所の抽選を受けて、数時間で掲示パネルを印刷し、数十組の設営チームが数時間で数百カ所の避難所に掲示する業務を約半年間に渡って行いました。多くの契約スタッフを抱えた弊社ならではの業務でした。特に、高齢者・障害者用の仮設住宅の提供は急務を要するものです。(また、仮設工場の募集業務補助も行いました。)

仮設住宅花いっぱい運動



仮設住宅マップ・概要図面集



被災者の皆様が避難所から仮設住宅に移って頂いてからも様々な問題が発生します。知り合い方々と離れ離れになり、孤立化が進みます。仮設住宅運営上、必要となる市内全避難所の概要図面の冊子制作の業務を役所から受託し、又、高校生のボランティアの方がたと協力しながら、花いっぱい運動等を繰り広げ、問題解決していきました。

三者契約・破棄物処理受付センター

約3年間に渡り、延べ数千人規模の事務作業を行いました。



震災後、長期間に渡って取り組まなければならないのが、瓦礫などの廃棄物処理です。阪神淡路大震災でも公費負担が決まり、三者契約(被災者、役所、解体業者)が実施され、その受付・事務作業の多くを、弊社の契約スタッフが約3年間に渡って遂行しました。三者契約の受付だけで、事務局の体制は、当初、約300人にもなりました。弊社ではセンターの備品調達、各種書類の制作補助、印刷、人員手配による運營業務を請負いました。延べ、数千人を超える業務規模です。業務には、処理施設、リサイクルセンターでの受付・運營業務も含まれます。また、解体車両の仮置場、リサイクル処理センターへの搬入は、交通渋滞、アスベスト問題など様々な問題が発生します。それらの防止対策にも取り組みました。専用通行道路の開設や車両通行許可証の発行等があります。今回の東日本大震災においては、所有者のわからないもの、また、中には思い出の品や貴重品も入っています。より被災者の気持ちを配慮した取り組みが必要となります。弊社では、阪神淡路震災で培ったノウハウと人員確保、又、管理ノウハウの提供をもって、これらの業務に総合的にサポートさせていただきます。

被災者向けチャリティーイベント



弊社ではボランティアとしても、多くのイベントに関わらせて頂きました。その代表的なものに「がんばれ神戸っ子。夢 愛 スタジアム」というチャリティーイベントの開催があります。多くのプロ野球選手やサッカー選手の呼びかけにより有名選手がボランティアで集結。被災地の子供たちと楽しく1日を過ごすイベントが開催されました。子供たちに夢や希望を与えることも忘れてはなりません。

合同慰霊祭



被災者の中でも、家族や友人を亡くされた方は、とくに心の整理がなかなかできるものではありません。慰霊祭等の実施は亡くなった方の供養の場であると同時に、人々の心の整理の場となります。